

大洲小PTAだより フェスティバル特別版

令和4年11月17日
市川市立大洲小学校PTA

10月29日（土）、わくわく秋のフェスティバルを無事開催することができました。

『大洲小PTAだより フェスティバル特別版』では、わくわく秋のフェスティバルの様子を紹介します。

PTA会長挨拶

さわやかな秋晴れの続く今日この頃、皆さま健やかに過ごしのことと存じます。

保護者の皆さま、そして何よりお子様達のご協力もありまして、本年度のわくわく秋のフェスティバルを無事に開催する事が出来ました。

1時間という短い時間でしたが、子ども達から「楽しかった！」等の嬉しい言葉を聞いたことや、当日お手伝いをさせてもらった中で、ニコニコした子ども達の笑顔に出会えたことは本当に良かったです。関係者の皆さまにおかれましては、お忙しい中本当にありがとうございました。

今後も困難があるかもしれませんが、子ども達の笑顔のために、お互いを思い協力し、出来る事を考え、一緒に前に進んで行けたらと思っております。引き続きよろしく願いいたします。

子ども達の声

「スタンプラリーがとても楽しかったです。」

「校内を仮装している人を探すのが面白かったです。」



店員に扮した先生方にスタンプを押してもらう子ども達



仮装した先生を見て盛り上がる子ども達

「運動系が多くて楽しかったです。」

「今までと違う種類の遊びが多くてよかったです。」

1年 輪なげ

運営委員より

初フェスティバルの方が多く、なかなか作業のイメージがつかめないこともありましたが、各自で積極的に作業の分担を申し出ていただき、可愛らしい装飾と輪なげ台を作成することができました。

当日も賑やかな雰囲気の中で、お友達と輪が入った数を言いあっている様子をみるなど、楽しんでもらうことができたと思います。



輪なげ台は、簡単なコース3レーン、難しいコース3レーンを用意しました。

=4F 図工室

2年 魚釣り

運営委員より

運営委員皆さんの知恵やアイデアのおかげで、低学年から高学年まで全員が楽しめる素敵な魚釣りブースを作り上げることができたと思います。

回転率を意識しすぎてしまい子ども達が余韻に浸る時間がなかったことが心残りですが、子ども達の笑顔やワクワクする声を直に感じることができ、一緒に楽しい時間が過ごせました。



低学年と高学年で難易度の違う魚釣りブースを用意。高学年は長い竿を使うことで難易度をあげました。ゲーム時間は1分間。

=ランチルームB、少人数教室

3年 万歩計足ふみゲーム

運営委員より

集まりの日程調整や、事前準備開始時期がギリギリになってしまったりと様々な課題がありました。

初めての催し物だったので万歩計が取れたり、壊れてしまったりとトラブルは見られましたが、短い時間の中で、委員の皆さんと協力をして話し合いを重ねた時間や、当日の子ども達のキラキラ輝く笑顔を見る事が出来た事は大変嬉しく、私達の宝物となりました。



足に万歩計をつけて、10秒間で何回足ふみできるか計測しました。=3F 家庭科室

4年 バスケシューティング

運営委員より

初めての催しで、上手く運営できるのか多少不安はありましたが、当日は子ども達の笑顔、楽しそうな姿が見られて嬉しく思いました。

コロナ禍で仕方が無いのですが、開催時間をもう少し長く取ってあげたかったです。

運営委員のチームワークが良く、皆さんと協力し合い、無事開催出来た事に感謝いたします。



バスケットゴール3台を使用し、1人当たり2回投球。高学年は規定の線から投球し、低学年は好きな位置から投球しました。

=体育館

5年 ピンポン的入れ

運営委員より

コロナ禍で集まる機会もなく、短時間に全学年をどう楽しませるか、不安のままの当日でした。

しかし、委員皆さんの豊富なアイデアや工夫により、満足のいく仕上がりになりました。

子ども達の楽しい！もう一回やりたかった！の声に心が温まりました。

時間がもっとあれば、より楽しめたのではないかと思います。



紙コップにゴム風船をつけた発射装置で、段ボールで組んだ的にピンポン玉を入れました。=3F 視聴覚室

6年 スタンプラリー お仕事を探せ！

運営委員より

「スタンプラリー お仕事を探せ！」では、担任の先生や用務員リーダーの村越さん、保護者がお仕事を連想させる仮装をしました。

スタンプを押すだけの事務的な作業になるかと思いましたが、「本物なの？偽物なの？」等、子ども達との楽しい会話もあり、あっと言う間の60分でした。

改めて、子どもと触れ合う時間の大切さを感じたフェスティバルとなりました。



さまざまな仕事に扮した大人を見つけて台紙にスタンプを押してもらいました。

=校舎内1～4F